

令和五年度

奥の細道矢立初めの地

# 子ども俳句相撲大会 句集

## 桃太郎

主催 荒川区

荒川区教育委員会

日程 令和六年三月実施



俳句のまちあらかわ

俳句

松尾芭蕉

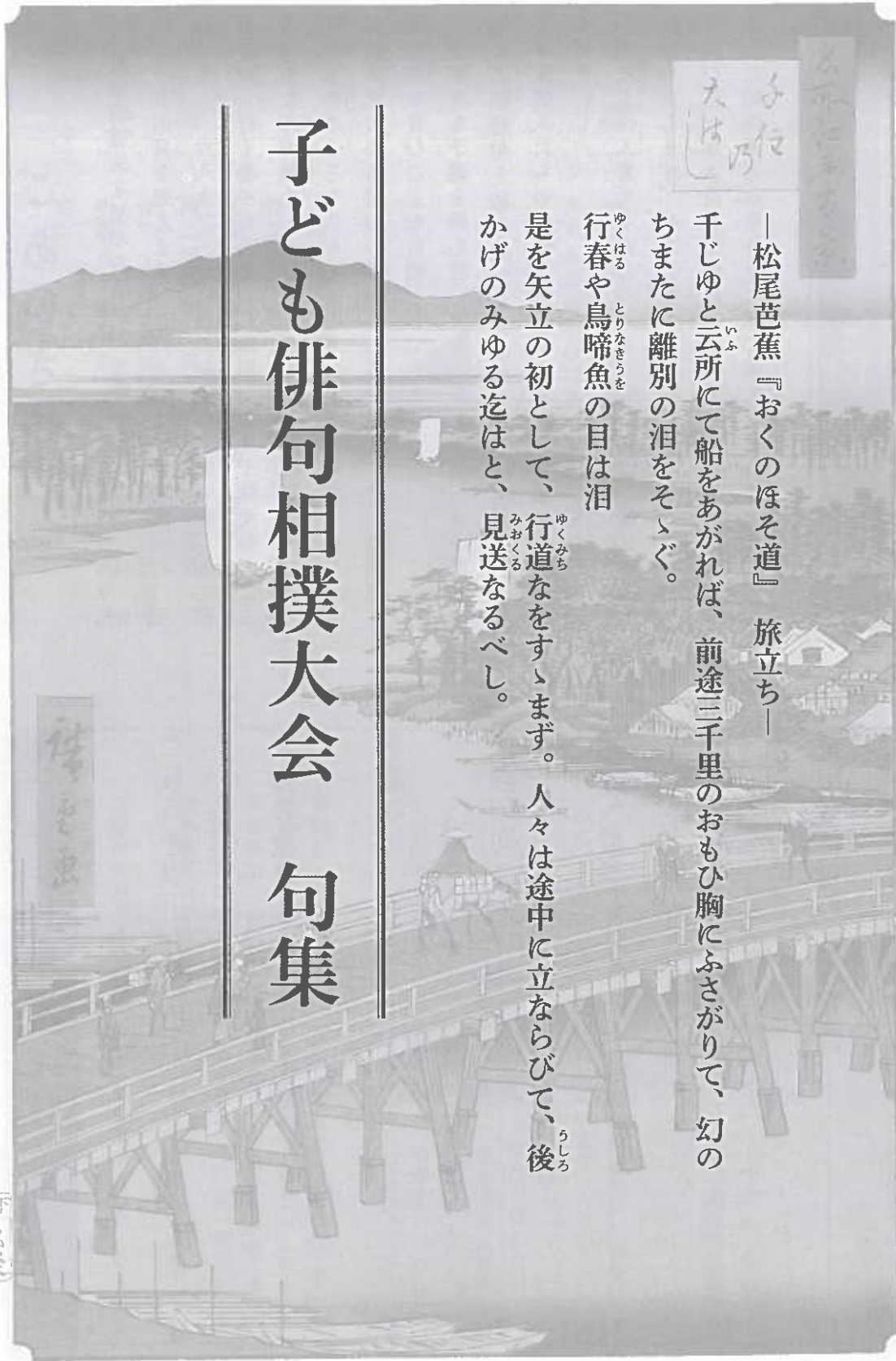
—松尾芭蕉『おくのほそ道』 旅立ち—

千じゆと云所にて船をあがれば、前途三千里のおもひ胸にふさがりて、幻のちまたに離別の泪をそそぐ。

行春や鳥啼魚の目は泪

是を矢立の初として、行道なをすまらず。人々は途中に立ならびて、後かげのみゆる迄はと、見送なるべし。

# 子ども俳句相撲大会 句集



谷下魚塚

# ごあいさつ

「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」は、今回で十五回目を迎えます。この大会は、松尾芭蕉が、元禄二年（一六八九）三月に奥の細道に旅立つ際、矢立初めの句「行く春や鳥啼魚の目は泪」を南千住で詠んだことにちなんで誕生しました。南千住が奥の細道矢立初めの地であることを広めるとともに、子どもたちに日本の伝統文化である俳句の素晴らしさを伝え、豊かな感性と表現力を育むことを目的としています。

今年度も予選を勝ち抜いた子どもたちに、春の訪れを感じる決勝句と絵を描いた作品を届けてもらいました。小学生俳人たちの個性と魅力があふれる句集をお楽しみください。

また上位入賞チームのパフォーマンスは、後日動画を配信いたします。ぜひご覧ください。

結びに、本大会の開催にあたりましてご協力いただきました関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

令和六年三月 荒川区 荒川区教育委員会



# 大会の流れ

## 予選

二人一組で1チームを作り一人一句の俳句を作成。応募があった荒川区の77チームの中から12チームが、決勝に進出



## 決勝

予選を勝ち進んだ12チームによる決勝。模造紙に書いた俳句作品を、審判員の点数の合計で判定。横綱（優勝）、東大関（準優勝）、西大関（三位）、関脇（四位）、小結・殊勲賞・敢闘賞・技能賞等があり、審判長・審判の審査により決定

# もくじ

- ごあいさつ・もくじ ..... 4
- 大会の流れ ..... 5
- 予選の句 ..... 6
- 決勝の句 ..... 7
- 総評・披講 ..... 11
- 芭蕉さんへのご報告 ..... 12
- 荒川区俳句のまち宣言 ..... 13

### 〔例言〕

・本誌は、令和六年（二〇二四）三月、荒川区・荒川区教育委員会主催により開催する「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」の句集です。

・本大会の句は、予選は「春の季節」、決勝戦は、「春雷」〔浅利〕の兼題をもとに作られています。

・本大会予選には、荒川区内の小学校十五校から計七十七チームの応募があり、荒川区俳句連盟（佐々木忠利氏、小松孝子氏、寺田千賀子氏、竹野美恵子氏、田岡弥寿子氏、菅谷安男氏）によって選考が行われました。

・審判長 対馬康子先生（俳人、現代俳句協会副会長、俳誌「麦」会長、俳誌「天為」最高顧問）、審判員 佐々木忠利先生（荒川区俳句連盟会長）、能圓坊貴子氏（兼善雄神社権禰宣、文化室学芸員）、荒川区、荒川区教育委員会が務めました。

・予選の句は学区順、決勝の句は獲得点順（賞順）になっています。

予選の句

(順不同・学区順)

春の風きみの気もちがあたたかい

春が来たうごきだすんだ新しく

ダブルはいくチーム(汐入東小学校)

休みの日みんなで行こうお花見に

友だちと春をさがしに行こうかな

むてきの二人組(第三瑞光小学校)

ふってくる学校帰り花の雨

やまのなかみんなでさがすクローバー

ゆきひの(第三瑞光小学校)

風すぎて見上げた空におぼろ月

池のそこおたまじゃくしのおしずもう

Shooting Star ☆(第六瑞光小学校)

しゃぼん玉次こそ行ける空の上

入学式だれが来るかとせのびする

マカロン(第六瑞光小学校)

忘れ雪一人ぼっちの帰り道

ブランコでとんだ先には青い空

しば犬チーム(第六瑞光小学校)

手をつなぎ歩いた先に春の虹

はじまりだみんなで笑う初桜

親友(第二峡田小学校)

さくらがね花じゅうたんでおでむかえ

入学だいつぽ大人にちかづいた

メガネコンビチーム(第三峡田小学校)

バッチコイうとうと飛ばせ春の昼

桃の花集めて散った思い出に

はいくよこづな(第九峡田小学校)

あと一つ全力投球春の昼

春の昼土ひょうに立って四股をふむ

S・K(第九峡田小学校)

春風やふわりとおどるわたげかな

つぼみさくはにかみながら記念写真

カントウタンホボ(尾久第六小学校)

三ノ輪橋おもいでバラ花ひらく

都電浴い桜とバラが花ひらく

花(尾久第六小学校)

決勝の句

はいくよこづな

荒川区立第九峡田小学校

秋元 貴文さん  
今野 真歩さん

「チーム名由来」よこづなをとるため

「意気込み」よこづなをとるぞー!

横綱(優勝)

春雷の怒れる竜が空泳ぎ

浅利汁口を閉けてる君と僕

審判長コメント

味噌汁に口が開いた浅利が「君」で、それを食べようとしている「僕」。ユーモラスです。春の嵐の空に「瞬竜」のように雷が走る。正義の怒りの竜なのでしょう。横綱おめでと。

東大関 (準優勝)

Shooting Star ☆

荒川区立第六瑞光小学校  
高山 由羽希さん  
池野 真理香さん

「チーム名由来」  
流れ星のようにキラキラと美しい俳句をよみたいから  
「意気込み」  
ぜったい横づなになるぞ！

塩水に目覚めあさり 遠海

とりたの あさりの汁もさっぱり

西大関 (三位)

マカロン

荒川区立第六瑞光小学校  
安藤 彩蘭さん  
竹嶋 美南さん

「チーム名由来」  
二人ともマカロンが好きだから  
「意気込み」  
去年は予選で負けてしまったので今回は予選を勝ちぬきたいです!!

あさりたちどろいふかど目を

またねむい目覚めの合春雷だ

関脇 (四位)

親友

荒川区立第二峡田小学校  
岩本 琉花さん  
竹内 絆花さん

「チーム名由来」  
とても大切な親友だから  
「意気込み」  
優勝目指してがんばります！

海の底 浅利もようが 一面に

さあ行くぞ春雷が押す 我が背中

小結

しば犬チーム

荒川区立第六瑞光小学校  
塩原 美波さん  
石橋 明佳さん

「チーム名由来」  
どちらも名前に「し」と「ば」が付いているから  
「意気込み」  
決勝戦までに行きたい!!

あさりがね くりやてここお 潮きだ

春雷の神々しさに手をあわし

技能賞

S・K

荒川区立第九峡田小学校  
杉山 漣さん  
片岡 茜さん

「チーム名由来」  
二人の名前のかしら文字がSとKだったから  
「意気込み」  
ぜったい横づなになります

春雷を開かぬは熟睡する弁証

春雷を母にひびかせ子をしかる

敢闘賞

カントウタンポポ

荒川区立尾久第六小学校  
黄 美妍さん  
矢野 瑞季さん

「チーム名由来」  
春の俳句だから  
「意気込み」  
出来るだけ残ります

春雷や闇夜を切りさく 光かた

春雷に かすむ 桃色 尾久の原

殊勲賞

むてきの二人組

荒川区立第三瑞光小学校  
岡野 美利さん  
島野 碧海さん

「チーム名由来」  
がんばってゆうしようするためむてきになる！  
「意気込み」  
ゆうしようするぞー!!

あさりがねすなの中から かくれんぼ

あさりじも 飲んだらうっとり 海の味

# 幕入賞

## ダブルはいくチーム

荒川区立沙入東小学校 「チーム名由来」二人ではいくを一つずつ出すから  
森下 真羽さん 「意気込み」がんばって一位になるぞ!!  
岡島 滂さん

みぞしるにあさりたくせん入れたいな

てまどうにゆじもさしたうた あさりいた

## ゆきひの

荒川区立第三瑞光小学校 「チーム名由来」二人の名前からとった  
遠藤 妃華さん 「意気込み」ぜったいにかつ  
赤塚 友紀花さん

あさり飯よそってみたらゆげあがる

塩水のふろにつかってあさり汁

## メガネコンビチーム

荒川区立第三峡田小学校 「チーム名由来」二人ともめがねをかけているからめがねコンビにしました  
原田 聖衣さん 「意気込み」いろいろいる春のさこや言葉を調べたので自信があります!富田 百音さん

浅利がねスープになつて登場だ

砂浅利綺麗な景色こねぞ海

## 花

荒川区立尾久第六小学校 「チーム名由来」荒川区は、みじかなところ  
丹野 智稀さん に花がたくさんあるから  
重黒木 清天さん 「意気込み」ゆうしようして、トロフィーを二人で持ちたい

雪とけて春の雷めげました

春を呼ぶ雷鳴るころ目がめ

# 総評

審判長 対馬康子

「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」は今回で第十五回目となります。新しい春に「俳句のまちあらかわ」の子どもたちの作品に、たくさんの希望を感じました。

予選を勝ち抜き決勝に進まれた十二チームの皆さん、おめでとございます。どの作品にもエネルギーがあふれていました。優勝したはいくよこづなの作品は、ことばに力がこもっており、工夫を凝らした短冊とともに素晴らしいかったです。東大関の Shooting Star☆は、小さなあさりから遠い海への転換が上手いです。あさりの味噌汁が美味しそう。西大関のマカロンはどちらも動作が生き生きと伝わります。関脇の親友は、貝の模様が神秘的。また「さあ行くぞ」と自分を励ます気持ちがいいてすね、小結のしば犬チームは昨年の優勝チーム。「くりや」「神々しさ」など凝った表現です。

俳句は移りゆく季節の中で日々のこころを表します。その十七音の世界はとも広くて自由です。来年は荒川区「俳句のまち」宣言から十周年を迎えます。記念の大会で子どもたちと元気に再会できますことを楽しみにしています。

# 披講

いちにちの春雪永久に人を待つ

対馬康子

露座仏の影をはばかり青き踏む

佐々木忠利

自註 春の息吹が躍動する青々とした草を踏み野天に座する仏即ち露座仏の影を気にしながら踏んでしまった後悔がいつまでも尾を曳いてい

## 芭蕉さんへのご報告



松尾芭蕉の碑と俳句の木札

松尾芭蕉が千住から旅立って、約百三十年後、文政三年（一八二〇）十月十二日の芭蕉忌に、千住大橋に程近い素盞雄神社に、千住の人々によって芭蕉の奥州への旅立ちを記念した松尾芭蕉の碑が建てられました。芭蕉の座像と「おくの細道」千住の一節が刻まれています。子ども俳句相撲大会では、決勝戦用の俳句を素盞雄神社からいただいた木札に書いて、大会審判の先生方ともに、代表チームが松尾芭蕉の碑に報告しています。

## 荒川区俳句のまち宣言

「行春や鳥啼魚の目は泪」

元禄2年3月この句を矢立初めの句として

松尾芭蕉はその生涯をかけ「奥の細道」へと旅立ちました

芭蕉が渡った千住大橋は江戸と東北の地を結び

私たちを俳句の世界へといざなう大橋として

昔もいまもこれから隅田川に架かります

私たちの暮らすまちには人々が行き交い

芭蕉の想いと四季折々の美しさに導かれ

子規が「茶が山頭火がこの地で俳句を詠みました

「五・七・五」17文字の無限に広がる世界の中で

私たちは想いを伝える力を持ちます

新しいものを創りだす力を持ちます

世界中の人たちと心を結ぶ力を持ちます

荒川区は

俳句の魅力を次代につなぐ架け橋として

子どもから大人まで俳句文化のすそ野をひろげ

豊かな俳句の心を未来に伝えることを誓い

「俳句のまちあらかわ」を宣言します



大会キャラクター「ばしょうくん」

奥の細道 矢立初めの地 千住あらかわ

表紙 相撲錦絵「桃太郎・怪童丸」〈部分〉香蝶楼豊国画（国立国会図書館蔵）  
扉 名所江戸百景「千住の大はし」歌川広重（荒川ふるさと文化館蔵）  
裏表紙 大会キャラクター「ばしょう君」

令和五年度 奥の細道矢立初めの地  
子ども俳句相撲大会 句集

令和六年三月

編集 荒川区立荒川ふるさと文化館  
〒114-0003  
荒川区南千住六-6-31-1  
TEL 03-3807-9234  
発行 荒川区・荒川区教育委員会  
株式会社光和印刷  
印刷 株式会社光和印刷  
登録番号 (〇五)〇二〇七号